

「味覚の一週間」[®] La Semaine du Goût

新型コロナウイルス感染防止対策 講師向けマニュアル

当該授業の実施につきまして、「味覚の一週間」実行委員会では、講師のみなさまに、新型コロナウイルス感染防止の対策を講じていただきますよう、以下に基本的な考えをまとめましたので、みなさまのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

1. 講師の方々は、学校の所在地と基本的に同地域の方としていただきますようお願いいたします。県をまたぐようなときは、学校のご意向もあるかもしれませんが、できましたらPCR検査をお受けいただき、陰性を確認してから学校を訪問ください。PCR検査を学校側から要求された場合は、検査費用は個人負担となりますことをご了承ください。
2. 授業当日は検温をして、37度5分以下であることを確認ください。
3. 教壇に立つとき、教室の中にいるときは、フェイスシールドを着用してください（マスクでも結構ですが、お話しづらいのではないかと思います）。コーディネーター、アシスタント方も必ずマスクを着用してください。授業中は児童・講師も含め、参加者が大声を出さないように注意喚起を行い、大型の教室では講師はマイクを使用するなど大声を出さないよう留意してください。
4. 靴の裏にもウイルスが付いていて、教室内に持ち込む危険性がありますので、靴の裏の消毒をしてから教室に入るか、別の靴に履き替えてください。
5. 授業を行う教室は扉を開放するなど密閉空間とならないようにし、十分な換気を行ってください。また、教室内では、児童同士の距離を保ち、密にならない程度の間隔を保つようにしてください。
6. 味見の食材は通常、塩、砂糖、酢、ビターチョコレート、出汁となります。地元の食材で、5味の確認をするのであれば、事前に学校側と打ち合わせて、許可をもらってください。
7. 手で食べる場合がありますが、授業の前に手洗いは必須ですが、鉛筆を持ったりした後に口に入れるものを手でつまむ場合は、もう一度アルコール消毒するか、ポリエチレン手袋をはめさせてください。
8. 講師が試食品として作っていくものは、アレルギー調査を必ず行い、問題のないものを試食させてください。
9. 試食品として地元の食材を使う場合は、その容器などは事務局では用意できません。基本としてお送りするのは塩、酢、出汁の味見用のカップと、チョコレート用の紙ナプキンのみです。
10. 試食の際には、黙食を厳守し、着席の上、児童と児童の距離を十分に保って行ってください。発言の時は必ずマスクを着用するよう徹底してください。
11. 残ったものは、児童には持ち帰らせないでください。
12. 通常の授業はできないので、講師のお話を長くするなり、コロナで家にいるときに、手洗いや、食事の準備の手伝いをするとか、withコロナのライフスタイルについて考えさせるなど、工夫した授業にしてください。
13. いつもと同じことをする必要はなく、「食」を通じて、農業者、飲食店、医療従事者などコロナで大変な思いをしている人たちへ、思いを馳せることも大切だということをお話いただくと幸いです。
14. 学校と事前によく話し合いをして、感染状況を考慮しながら、授業を実施していただきますよう、お願いいたします。
15. 内閣官房HP掲載のガイドラインに従い、感染対策を行うことをホームページにも明記します。順守をお願いいたします。

「味覚の一週間」[®]実行委員会（実行委員長：瀬古篤子）

住所：〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-6-306

電話：080-9399-9849（専用携帯）

FAX：03-4496-4346

E-mail：info@legout.jp URL：www.legout.jp